

始業集会挨拶

皆さんおはようございます。

夏休みも終わり、いよいよ2学期のスタートです。

藤蔭祭である体育祭、文化祭と大きな学校行事が目前に迫っています。夏休みの間も貴重な時間を割いて準備を進めてきたことと思います。皆さんの取組みの成果を大いに期待しています。

今年の夏は猛暑が続きました。まだまだ予断を許さない状況です。

31日に開催予定の体育祭については気温や湿度の関係で、生徒の皆さんの健康を考えて、一部プログラムのカットや変更を行うことも検討していますので、その可能性があることを皆さんにお知らせしておきます。

蝉の鳴き声を、「この世界に生まれたうれしさと、自分がこうして生きていることのたのしさを表すために、うたっている」と表現したのは昆虫学者のファーブルですが、地中からはい出てきた蝉の幼虫が、木に登り殻を破るまでの時間はどれくらいみなさんは知っていますか。約2時間だそうです。そしてこの美しい姿を世に現し、夏空に羽ばたくまでには戦いがあり、天敵に襲われたりして半数以上が力尽きてしまうそうです。

人間にも「殻を破る」という言葉が使われることがあります。自分はこんなものだと決めつけて卑下してしまう心では「殻」を破ることはできないでしょう。

「殻を破る」とは決して別の人間になることではありません。自分自身の可能性を信じて、秘められた力を発揮しようと挑戦を続けることです。皆さんも、あせらず、しかしたゆまず挑戦し続けてください。

まだまだ暑い日が続きますが、体調管理には十分注意をして自分のめざす目標に向かって前進して行ってください。

平成30年8月27日 大阪府立春日丘高等学校長 福留 明富